

## 学びプラン

**観光いちご園で学ぶ最先端農業とSDGsの取組**

これまでの「いちごを摘むだけの体験」ではなく、キャリア教育と地域産業のDX化、そしてSDGsの取組を学ぶための複合的体験プログラムです。関東エリアではここにしかない最先端技術を有するいちご農園を見学し、農園関係者の講話を聴いた後、実際にいちご狩りを体験していただきます。いちご狩りの後には、SDGs実現を目指しながら、企業経営を進める農園の取組を模擬体験していただくために、ここでしかできないオリジナルのカードゲームを行います。農園に従事する方の話や、スマート農業の最先端現場見学を通して、参加者は自身の将来のキャリアを見つめ直しながら、日本の次世代の農業やSDGsの取組について学んでいただきます。



吊り下げ式栽培

**▶ならではポイント****【最先端技術】**

日本初・韓国から直輸入し、関東では初の特殊栽培となるリフティングいちご栽培の他、オランダ式農業用ハウスやイスラエル式点滴灌水等、各国の最先端の農業技術に触れることができます。

**【SDGs と農業経営を体感】**

経営とSDGsを両立するための企業としての取組等、カードゲームを通して自分自身が経営者の立場となって体験をいただくことで、実践的なキャリア教育に繋がります。



イチゴ (イメージ)

## ▶プログラムの流れ・タイムスケジュール・メニュー等

## 【プログラム内容（一例）】

## 9:30- ① 農園見学と説明（約30分）

各国の最先端設備を取りそろえた最先端農園を一通りご覧いただきます。

## 10:00- ② いちご狩り体験（約40分）

関東では初の特殊栽培となる空中いちご園にていちご収穫体験をしていただきます。

## 10:45- ③ 農場経営ゲーム（約90分）

農業の不確実性、経営戦略に加えて経営におけるSDGsの実践要素が盛り込まれたボードゲームでバーチャル農場経営を体験していただきます。

## 12:30（解散）



オランダ式高度環境制御ハウス



選果場 自動サイズ選別システム



イスラエル式灌水棟

## ▶その他補足情報

- ・所要時間：90分～160分
  - ・対応可能人員：240名程度まで
  - ・設定期間：10月-5月の平日
- ※10-11月は①③体験のみとなります。
- ・設定除外日：土日祝及び6月-9月

## ▶交通アクセス

圏央道常総ICから  
車で約3分

## ▶カードゲームイメージ

### ゲーム内容

施設見学で農園従事者からの説明を受けた後、ゲームのプレイヤーとして農園経営を疑似体験し、スマート農業とSDGs、農園経営の苦楽を学ぶ。

プレイヤーは観光  
いちご園経営者

コレマデ農園からミライ  
農園に引越決定！

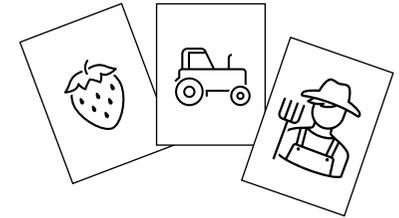
ミライ農園は最先端技術  
を取入れたスマート農業！  
賢い設備投資が必須

引越中も営業継続！いち  
ごを生産しながら体験受  
入や販売をおこなう

### ゲームスタイル

ミライ農園建設に必要な設備や営業に関するカードがランダムにモニターに表示され、自分が使うカードを1枚選ぶ。

取ったカードに合わせてゲームシートを埋めながら、ポイントを獲得。



#### SDGs的キーワード

・環境負荷軽減 ・食料自給率向上 ・労働力不足解消 ・地域雇用創出 ・持続可能な農業 ・地域農業の活性 ・従業員満足

ポイントは「企業としての運営ポイント」と「SDGs貢献ポイント」の2つあり、最終的にどちらのポイントもバランスよく獲得できたプレイヤーの勝利！

### ゲーム実施全般

- ・ゲームはいちごハウス内にて行います。
- ・ゲーム用のシートを1人1枚配布します。
- ・ゲームの進行は、モニター画面を使って行います。
- ・基本的には個人戦となりますが、チーム戦にすることも可能です。



ハウス内

▶施設見学について

日本最大規模の空中いちご園には、各国の最新技術が詰まっています。施設見学で実際に見た最新鋭の農業設備がその後のゲームにも登場します。空中から吊り下がるいちごのハウスに足を踏み入ると、大歓声が沸き起こりました。



バス降車後、売店前での説明



自動振分け機のある選果場



イスラエル式灌水棟とオランダ式フェンローハウス

- ・いちごが空中につらされていて初めて見てびっくりしたし、すごいと思いました
  - ・大事なのは生産だけでなく環境も考えなければいけないことが分かった
  - ・身近な場所に最先端な技術が使われていることを知りとても親近感が湧きました
  - ・最先端の農業はSDGs等環境にとっても良いことも今回の校外学習で体験することができました
  - ・いちごはAIで管理していると聞いて、「そんなことができちゃうんだ、すごいな」と感激しました
  - ・最先端の技術でSDGsに気を付けたり、いちごの植え方を工夫していて、すごいなと感じました
  - ・道具が機械化され、自動で動いていて、農業も少しずつ未来にあった新しい方法で行われていると分かった
  - ・農業は汚いなどマイナスなイメージがありましたが、最先端の技術を使うことで自分の中にあったマイナスなイメージがなくなりました
  - ・これからは大変な作業を裏ではやり遂げていることを理解しながら、買い物をしたいと思いました
- 【先生の声】 選果場や、点滴かん水の装置などを直接目にする事ができ、生徒にとってよい経験になったと思います

参加した  
生徒の声



## ▶カードゲームについて

ルールの理解に少し時間がかかり難しく感じる生徒が多いですが、実際にゲームが始まると経営者気分になってそれぞれがゲームに没頭し、最後は歓声や悲鳴が沸き起こり、大盛り上がりの90分となりました。



いちご天井の下モニターで実施



ゲームシートと解説シート



レジャーシートと筆記具を持参

- ・いろいろな戦略を考えるのが楽しかった
- ・工夫の仕方次第でSDGsと売上げの両立ができるんだと思いました
- ・自分で農園を経営している気分になるので積極的に行うことが出来る
- ・一人ひとりでポイントが違っても個性が出ていいと思った
- ・経営はとてむずかしいがよい経験になった
- ・どんなことがあってもいいように計画して進めないと大変な事になることを教えてくれるいいゲームでした
- ・本当に農家になった気持ちになれてとてもいい経験になりました
- ・ゲームをしながら農業の事を知ってとてもいいゲームだったとおもいました
- ・簡単に経営者気分になれ、どのように効率よく栽培できるのかを考えさせられるようなゲームだと思いました
- ・ルールを覚えたら、農園の管理や売上げ、SDGsのそれぞれのことを考えながら行うのが楽しかった

【先生の声】初めの方は、ルールの難しさにとまどっていましたが、**大半の生徒は徐々にルールを覚え、ゲームを楽しむことができていました。**

参加した  
生徒の声



### ▶いちご狩りとキャリア講話について

ゲームを通して理解を深めた後のいちご狩りはまた違った気分で味わうことができます。AI管理で味も抜群！講話では20代の若い農業従事者がこれまでの農家のイメージを払拭しつつ、やりがいを見つけることの大切さを語ってくれます。



20代のかっこいいお兄さんによる講話



笑いも織り交ぜつつ、真剣に農業を語ってくれます



1つのハウスで4種類のいちごが食べられます

- ・いちごが**すごくおいしかった！**
- ・**些細な事から自分のやりたいことが見つかるかもしれない**ことに気づいた
- ・農園で働いている人は、**みなさん誇りをもって仕事をしている**のだと知った
- ・**今までと違う農業の見方**が分かった
- ・農業という職業の**好感度が上がりました**
- ・**いちごのためにあんなに頑張っていてかっこよかった**
- ・最近では若者も農業の仕事をする人が増えていること、**農業は辛い事ばかりじゃなくて楽しいこともある**
- ・この学習を通して**農業の良さを教えてもらった**ので、**将来の仕事の候補に入れたい**なと思いました
- ・農業についての**新たな発見を見つけることが出来た**ので**もっと農業がやりたい**と思う人が増えるのではないかと**思った**
- ・農業は辛くて、あまり稼げない日本ではよくない農業だと思っていたけど、**説明を聞いて印象が変わった**
- ・農家は大変だろうと思っていたけれど、施設の人の話を聞いて**やりがいのある仕事でとてもいい仕事**だなと思いました

参加した  
生徒の声

